

バスケット語の文字化の確立に向けて*

乾 秀行

(山口大学)

inui@yamaguchi-u.ac.jp

0 はじめに

本稿は、エチオピア連邦民主共和国内で話されている、オモ系少数言語バスケット (Basketo) 語の文字化に関する資料を提供するものである。

SIL(Summer Institute of Linguistics)の活動の一環として、世界諸言語の文字化活動がある。2009年11月アジス・アベバ大学で開かれた第17回エチオピア学国際会議の折、SILの現地コーディネーターである Aija Katriina Ahberg 氏から、現在バスケット人と協力して「バスケット語文字化プロジェクト (Basketo Literacy Project)」に取り組んでいることについて説明を受け、協力を依頼された。プロジェクトでは、2008年6月にエチオピア文字を用いた識字教育用のテキスト“Basket Fidala Mats’afa(Basketo letter’s book)”と、やはりエチオピア文字で書かれた7冊の読み物を出版した。識字用のテキストはA4版で総ページ数77ページから成る。一方、7冊の読み物の方は、A5版でそれぞれ15ページ前後の短いものである。

今回、その中で識字用テキストに書かれているバスケット語表記法と、それに基づいて書かれた具体的な読み物の中から“Pithi the cunnig mouse”というテキスト(16ページ)を取り上げ、バスケット語の文字化について、その問題点を言及したい。

*本稿のデータは、2010年2月及び2011年3月にエチオピア連邦民主共和国内のバスケット (Basketo) で、フィールド調査をして収集したものである。インフォーマントには、バスケットの中心地ラスカ (Laska) からさらに車で40分のところにあるバルタ村出身で、現在はアルバミンチで生計を立てている Fiqre Dejene 氏およびバルタ村に住む多くのバスケット人である。ここに感謝の意を表したい。なお本稿は、平成16～22年度科学研究費基盤研究(B)「オモ・クシ系少数言語の調査研究及び地理情報システムを用いたデータベース構築」代表乾秀行(山口大学)(課題番号16401008, 19401023)及び平成22～25年度科学研究費基盤研究(B)「変容するエチオピア諸言語の静態と動態に関する総合的研究,ならびにデータベース構築」代表柘植洋一(金沢大学)(課題番号22401046)による研究成果の一部である。

1 アムハラ語に用いられるエチオピア文字

まずアムハラ語に用いられているエチオピア文字の性格から見ていく。エチオピア文字は、子音字を基本にして、それに母音字を加える CV (= 1 子音 + 1 母音) の音節文字である。日本語の五十音図のように、それぞれの子音文字にアムハラ語で必要な 7 つの母音が第 1 列から第 7 列まで配置されている。

表 1: アムハラ語の母音

1 列	2 列	3 列	4 列	5 列	6 列	7 列
ä	u	i	a	e	ə	o

子音字は Leslau(1968) によれば、全部で 33 文字¹で、 $33 \times 7 = 231$ 文字が作られる。しかし、ゲエズ語表記のために成立した文字の中には、アムハラ語では区別されない文字があり、h が 4 種類、s が 2 種類、s' が 2 種類、そして母音のみを表す文字が 2 種類、それぞれ異字体が存在する。したがって、それを差し引くと、合計 $27 \times 7 = 189$ の音節文字を表している。重複を省いたアムハラ語のローマ字転写と [] に IPA に準拠した音声表記を入れて表すと、表 2 のようになる。

ところで、アムハラ語を表記する上で、二つの問題がある。1 つは重子音を表記するための方法がないことで、もう一つは第 6 列の文字が通常の子音の [ə] を含んでいる CV を表す場合と子音字の C だけを表す場合の二重性があるということである²。

2 バスケト語の音韻体系

バスケト語の音韻体系について、まず母音はアムハラ語より少ない 5 母音であるけれども、その代わりに母音の長短が弁別的である。長母音をどう表記するかが 1 つの課題である。まとめると表 3 のようになる。

次に子音には、アムハラ語にはない無声音の /t/ と /ʔ/、入破音の /b/ と /d/、声門有声摩擦音 /h/ があり、これらをどう文字表記するかが課題といえる。またアムハラ語でも表記し分けられない重子音がバスケト語でも弁別的であり、それに加えて子音連続や閉音節もあるので、その扱いをどうするかがもう一つの課題

¹唇音化される 4 文字がこれに加わる。なお、第 2 列の [u] と第 7 列の [o] との組み合わせはない。

²柘植 (2001) 参照。

表 2: アムハラ語の音節表記

子音字	1列	2列	3列	4列	5列	6列	7列
h [h]	hä	hu	hi	ha	he	hə	ho
l [l]	lä	lu	li	la	le	lə	lo
m [m]	mä	mu	mi	ma	me	mə	mo
s [s]	sä	su	si	sa	se	sə	so
r [r]	rä	ru	ri	ra	re	rə	ro
š [ʃ]	šä	šu	ši	ša	še	šə	šo
q [kʼ]	qä	qu	qi	qa	qe	qə	qo
b [b]	bä	bu	bi	ba	be	bə	bo
t [t]	tä	tu	ti	ta	te	tə	to
č [tʃ]	čä	ču	či	ča	če	čə	čo
n [n]	nä	nu	ni	na	ne	nə	no
ň [ɲ]	ňä	ňu	ňi	ňa	ňe	ňə	ňo
V	ä	u	i	a	e	ə	o
k [k]	kä	ku	ki	ka	ke	kə	ko
w [w]	wä	wu	wi	wa	we	wə	wo
z [z]	zä	zu	zi	za	ze	zə	zo
ž [ʒ]	žä	žu	ži	ža	že	žə	žo
y [j]	yä	yu	yi	ya	ye	yə	yo
d [d]	dä	du	di	da	de	də	do
ǧ [ɟ]	ǧä	ǧu	ǧi	ǧa	ǧe	ǧə	ǧo
g [g]	gä	gu	gi	ga	ge	gə	go
tʼ [tʼ]	tʼä	tʼu	tʼi	tʼa	tʼe	tʼə	tʼo
čʼ [tʃʼ]	čʼä	čʼu	čʼi	čʼa	čʼe	čʼə	čʼo
pʼ [pʼ]	pʼä	pʼu	pʼi	pʼa	pʼe	pʼə	pʼo
sʼ [tsʼ]	sʼä	sʼu	sʼi	sʼa	sʼe	sʼə	sʼo
f [f]	fä	fu	fi	fa	fe	fə	fo
p [p]	pä	pu	pi	pa	pe	pə	po

表 3: バスケト語の母音体系

i		u	i:	u:
e	o		e:	o:
	a			a:

である。子音体系をまとめると表 4 のようになる。

表 4: バスケト語の子音体系

無声閉鎖音	p	ts	tʃ	k	ʔ
有声閉鎖音	b	d	ɖ	g	
放出音			ts'	tʃ'	k'
入破音	ɸ	d			
無声摩擦音	ɸ	s	ʃ		h
有声摩擦音		z	ʒ		ɦ
鼻音	m	n			
流音		r/l			
半母音	w		j		

最後に問題点を整理しておく。

1. 長母音の表記
2. 重子音の表記
3. 子音のみの表記
4. バスケト語にしかない音の表記

3 SIL の表記法

バスケト語をエチオピア文字を使って表記するために、「バスケト語文字化プロジェクト」ではいくつかの提案をしている。文字表は最後に掲載しているので参照されたい。

1. 長母音の表記：文字の上に点を 2 つ打つ方法。
2. 重子音の表記：文字の上に点を 1 つ打つ方法。

3. 子音のみの表記：第6列の文字を子音専用にする。

1と2は、比較的わかりやすい解決策で、慣れればわかりやすい。また3は、バスケット語の場合5母音なので、第2列、第3列、第4列、第5列、第7列の5つで十分で、第1列と第6列は余る計算となる。そのため、その余る2つの文字のうち、アムハラ語でも子音だけを表すことができる第6列の文字を子音専用の文字として採用した。そのため、アムハラ語のような二重性は発生しない。なお、もう一つ文字である第1列の文字は一切使われない。

最後に、バスケット語にしかない音の表記であるが、以下の5つの音の扱いとなる。

1. /ʀ/は、母音文字を用いる。
2. /β/は、/p/の文字を用いる。
3. /d/は、/p/の文字に横線を一本書き加える。
4. /ts/は/s/の文字に横線を一本書き加える
5. /h/は、余っていた母音文字を用いる。

1は、母音で始まる音には常に声立てとしての声門閉鎖音があると解釈していると思われる³。その結果、第6列の音を用いれば、子音専用なので/ʀ/を表すことが可能となる。2は、入破音と放出音の違いがあるものの、同じ喉頭気流で調音位置も同じである。また、たとえば数字の「10」を表す“ta66a”のような重子音になる場合は、入破音が無声化するので、/p/で表記するのはある程度理にかなった解決であるといえる。3は、2と同じ入破音である点を踏まえて、横線を書き加えることで新たな文字を考案している。4は、横線を加える点に関しては同じであるけれども、同じ破擦音で放出音の/ts/の文字よりも/s/の文字を基本に作っている点の特異である。最後に5は、余っていた母音文字を用いているが、/h/の文字から選ぶ選択肢もあったかと思われる。なお、この音が現れるのは母音/a/の前だけのため、文字も第4列のみしか表に出していない。

その他、言及しなければならない細かな点がいくつか残っている。表にはバスケット語には現れない/v/や/ɸ/が残っている。前者は、アムハラ語からの借用語に対応したものであり、後者はバスケット語では/ɸ/に読み替えられているが、軟口蓋音の前の鼻音が逆行同化する場合にのみ現れるもので、音素としては存在しない音である。また/z/の音で表記されているものの中に、/dz/の音も含まれている（数字の「3」は/fiaydzi/）。以上、まとめるとSILのバスケット語表記は次のようになる。

³確かに語頭が母音で始まる場合、声立てとしての声門閉鎖音が現れることがあるけれども、それは弁別的ではない。

表 5: SIL によるバスケット語のエチオピア文字表記

C	2列	3列	4列	5列	6列	7列	C	2列	3列	4列	5列	6列	7列
h	hu	hi	ha	he	h	ho	k	ku	ki	ka	ke	k	ko
l	lu	li	la	le	l	lo	w	wu	wi	wa	we	w	wo
m	mu	mi	ma	me	m	mo	z	zu	zi	za	ze	z	zo
r	ru	ri	ra	re	r	ro	j	ju	ji	ja	je	j	jo
s	su	si	sa	se	s	so	y	yu	yi	ya	ye	y	yo
ts	tsu	tsi	tsha	tse	ts	tso	d	du	di	da	de	d	do
sh	shu	shi	sha	she	sh	sho	dh	dhu	dhi	dha	e	dh	dho
k'	k'u	k'i	k'a	k'e	k'	k'o	dj	dju	dji	dja	dje	dj	djo
b	bu	bi	ba	be	b	bo	g	gu	gi	ga	ge	g	go
t	tu	ti	ta	te	t	to	t'	t'u	t'i	t'a	t'e	t'	t'o
ch	chu	chi	cha	che	ch	cho	ch'	ch'u	ch'i	ch'a	ch'e	ch'	ch'o
n	nu	ni	na	ne	n	no	bh	bhu	bhi	bha	bhe	bh	bho
ng	ngu	ngi	nga	nge	ng	ngo	ts'	ts'u	ts'i	ts'a	ts'e	ts'	ts'o
'	'u	'i	'a	'e	'	'o	f	fu	fi	fa	fe	f	fo
H			Ha				p	pu	pi	pa	pe	p	po

4 バスケト語のローマ字表記

乾(2008)では、バスケト語の文字表記について、単に IPA に準拠した記述を目指すのではなく、将来バスケト語母語話者にも使える辞書や文法書を作ることを念頭に置いて、正書法の提案を行った。それを簡単に紹介すると、エチオピアにおいてアムハラ語について影響力のあるクシ系最大の言語オロモ語の正書法を1つのヒントとした。

オロモ語はクベー(Qubee)と呼ばれるローマ字アルファベットを用いて表記され、少ないながらもアジス・アベバの書店にはオロモ語の本が並んでいる。オロモ語はバスケト語と同じく、5母音で長短の区別が重要な言語で、さらに重子音も弁別的である。また、歯茎入破音を持つ点も共通しており、ある程度その表記法はエチオピア国内で認知されているといえる。しかし一方で、放出音の表記が体系として非常にわかりにくい。つまり、p[p]に対してph[p']なのに、なぜかc[tʃ]に対してはch[tʃ]と逆になっている。またアムハラ語にあるq[k']を利用した延長線で、x[t']という表記を用いている点が特異である。なお、アムハラ語にはない歯茎入破音の[d]は「dh」という文字を用いて表している。

そこで長母音及び重子音はオロモ語に倣って重ね書きをし、放出音は一貫して「'」を付け、入破音はやはりオロモ語に倣って「h」を付けることを提案した。なお、歯擦音はts[ts]およびch[tʃ]のように表記することにした。一番処理に困ったのが有声声門摩擦音の/ɦ/である。暫定的に大文字の「H」にしている。以下一覧を挙げておくので参照されたい。

【母音】

i (/i/) e (/e/) a (/a/) o (/o/) u (/u/)

ii (/i:/) ee (/e:/) aa (/a:/) oo (/o:/) uu (/u:/)

【子音】

p (/p/) t (/t/) ts (/ts/) ch (/tʃ/) k (/k/) ' (/ʔ/)

p' (/p'/) t' (/t'/) ts' (/ts'/) ch' (/tʃ'/) k' (/k'/)

b (/b~β/) d (/d/) dz (/d͡z/) g (/g/)

bh (/b/) dh (/d/)

f (/f~ɸ/) s (/s/) sh (/ʃ/) h (/h/)

z (/z/) j (/ʒ/) H (/ɦ/)

m (/m/) n (/n/)

r (/r/)

l (/l/)

w (/w/) y (/j/)

5 終わりに

本来言語は音声を中心に語られるものであり、多くの言語はこれまで文字がなくても何千年、何万年と生きてきた。ただし、今は急速な勢いでグローバル化が進み、世界言語の多くが一気に消滅へと向かう可能性がある。話し手を失った瞬間に言語は消滅する。現在5万人以上の話し手がいるとされるバスケット語の場合、10年後に消滅することはないであろうが、それでも大言語への言語交替や語彙の借用は止めがたい事実である。本稿は、少数民族言語が文字を持つことの意味を考えるための出発点として、バスケット語がエチオピア文字あるいはローマ字表記の可能性を整理してみた。

ところで、このエチオピア文字のテキストとローマ字のテキストをインフォーマントのフィクレ氏の出身村であるバルタ村の6歳から12歳の子どもに試験的に読ませてみたところ、若干ではあるが、ローマ字テキストの方が読みやすかったようである。若年層の場合、エチオピア文字の習得には時間を要し、識字率が必ずしも高くなかったことが要因の一つと思われる。確かに音素文字であるローマ字表記は一見すると万能のように見える。しかし、今回確認したように、SILのエチオピア表記はよく考えられたもので、決して難解な表記法ではない。エチオピアという国で暮らす以上、アムハラ語やエチオピア文字と関わらずに生きていくことはできない。安易な選択としてローマ字化に向かうのではなく、エチオピアの中で暮らす少数民族が取るべき文字選択として考えなければならない。

6 テキストの比較

最後にエチオピア文字とローマ字のテキストを比較するために、SILの“Pithi the cunnig mouse”の本文を載せておく。ただし、SILのテキストは正書法に慣れていないために、特に重子音や長母音に関して間違いが目立つ。また、文法記述もされていないので、話しことばをそのまま文字化しているところも散見される。ローマ字テキストの方は、文法的な点を踏まえて、書きことば化したものである。両者の間に文字の上で完全な対応はないことを申し添える。なお、テキストには簡単な逐語訳をつけた。本稿の目的は文字表記なので、テキストの詳細な文法分析は別の機会に譲ることにする。

ባሕርት ፊዳላ

ሁ	ሂ	ሃ	ሄ	ህ	ሆ		ኩ	ኪ	ካ	ኬ	ክ	ኮ
ሉ	ሊ	ላ	ሌ	ል	ሎ		ዉ	ዊ	ዋ	ዌ	ው	ዎ
መ	ሚ	ማ	ሚ	ም	ዋ		ዙ	ዚ	ዛ	ዜ	ዝ	ዞ
ሩ	ሪ	ራ	ሬ	ር	ሮ		ዠ	ዡ	ዣ	ዤ	ዥ	ዦ
ሱ	ሲ	ሳ	ሴ	ሰ	ሶ		ዪ	ያ	ዳ	ዴ	ይ	ዮ
ሱ	ሲ	ሳ	ሴ	ሰ	ሶ		ዪ	ያ	ዳ	ዴ	ይ	ዮ
ሹ	ሺ	ሻ	ሼ	ሽ	ሾ		ደ	ዳ	ዳ	ዴ	ድ	ዶ
ቁ	ቂ	ቃ	ቄ	ቅ	ቆ		ጁ	ጂ	ጃ	ጄ	ጅ	ጆ
ቡ	ቢ	ባ	ቤ	ብ	ቦ		ገ	ጊ	ጋ	ጌ	ግ	ገ
ቱ	ቲ	ታ	ቲ	ት	ቶ		ጡ	ጢ	ጣ	ጤ	ጥ	ጦ
ቹ	ቺ	ቻ	ቼ	ች	ቾ		ጬ	ጭ	ጮ	ጮ	ጯ	ጰ
ኑ	ኒ	ና	ኔ	ን	ኖ		ደ	ዲ	ዳ	ዴ	ድ	ዶ
ቸ	ቺ	ቻ	ቼ	ች	ቾ		ደ	ዲ	ዳ	ዴ	ድ	ዶ
ኡ	ኢ	ኣ	ኤ	ኦ	ኦ		ፋ	ሬ	ፋ	ሬ	ፍ	ፎ
		ዓ					ፑ	ፒ	ፓ	ፔ	ፕ	ፖ

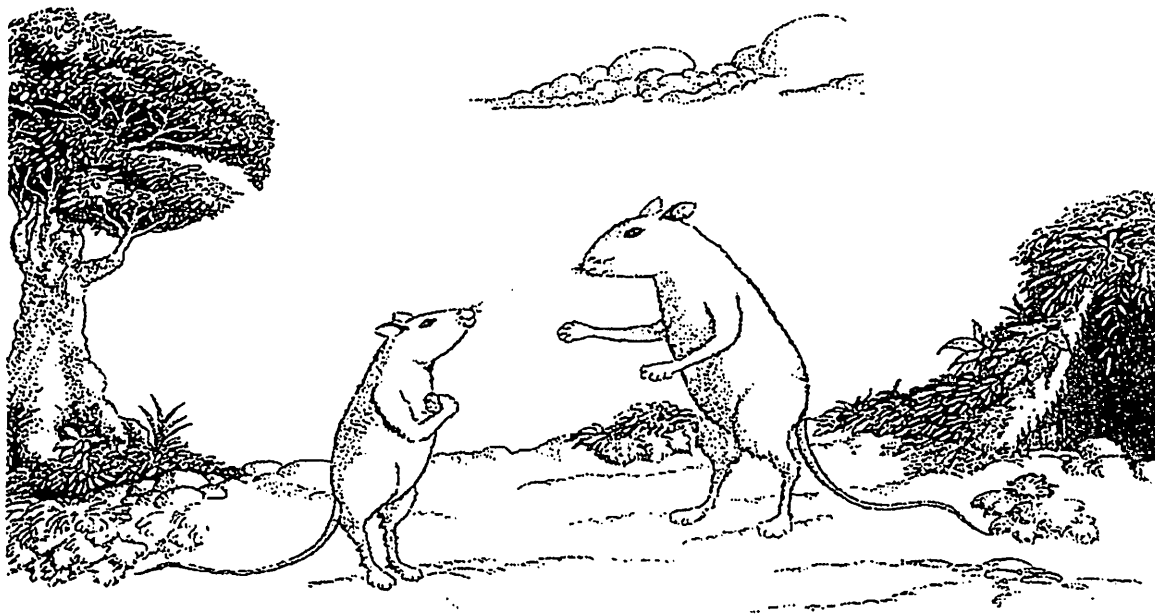
ቀርጺንላኒ ጋዝ ኤጫ ኢጺንዶ



k'irts'intsani gaazin ech'in ints'indo

『キルツィンツァネという賢いネズミ』

ሚን ቆዳኮ ቁርጫጎላኔ ጌዝ
 ናኢ ኢገቦ ዎዶ ፔቲ ኢጲ ዎድ
 ጌዴ። ኢገ ሕል ካንታ ጨርጶ
 ጌዴዛ ባዎ ዎዴ፣ ቁርጫጎላኔ
 ኢንዲንዳ ባዎ ጨርጶ ኢዞ
 ሞካይሬን ዎዴሶ ጋላስ ሬና
 ናጋምፔን ዞሬሬ።



min woydako k'irts'intsane geyiz

昔あるところにキルツインツアネという

na'i izabo wodho fetti iits'i wodh

子どもが彼女にいる一匹の鼠がいた

geyide. iz aal kanta ch'irbha

と言いました。彼女の家の近くにチルビ

geyiz bawi wodhe. k'irts'intsani

という猫がいました。キルツインツアネの

indinda bawa chirbhi izani

母は猫のチルビが彼女を

moyakkayfen woytso galas feeni

食べないように毎日自分を

naaganfen zorare.

守るように忠告していた。

ባዎ ጨርጶ ሕጻናትን ሞንዳብ
ኮዩርዶን ሕጻን ኢንዲምቦ ጴቸ
ኢጨር ጌይዴ። ዎተናካሬ ፔተ
ጋላስ ኢዞ ኤዳር ሞንዳቦ ኮሻ ቃም
ናጊ ዎዴ።



bawa ch'irbhi iits'in na'indani muyandabo

猫のチルビは鼠の子どもを食べようとするが

koyirdon iits'in indabo bhech

鼠の母をととも

iich'ir geyide. wotinkari fetti

恐れていた。けれども、ある

galas izani eddhari muyandabo kosh k'am

日彼女を捕まえて食べるためによい日を

naagi wodhe.

狙っていた。

ፔቲ ጋላስ ቂርጺንፋና ኢንታ
እሊምፖ ጎታር ሉካዴ፣ ማቅንዳብ
ኢዞ ጎይሊ ቱቲንሊዴ።



fetti galas k'irts'intsana int

ある日キルツィンツァネが彼らの

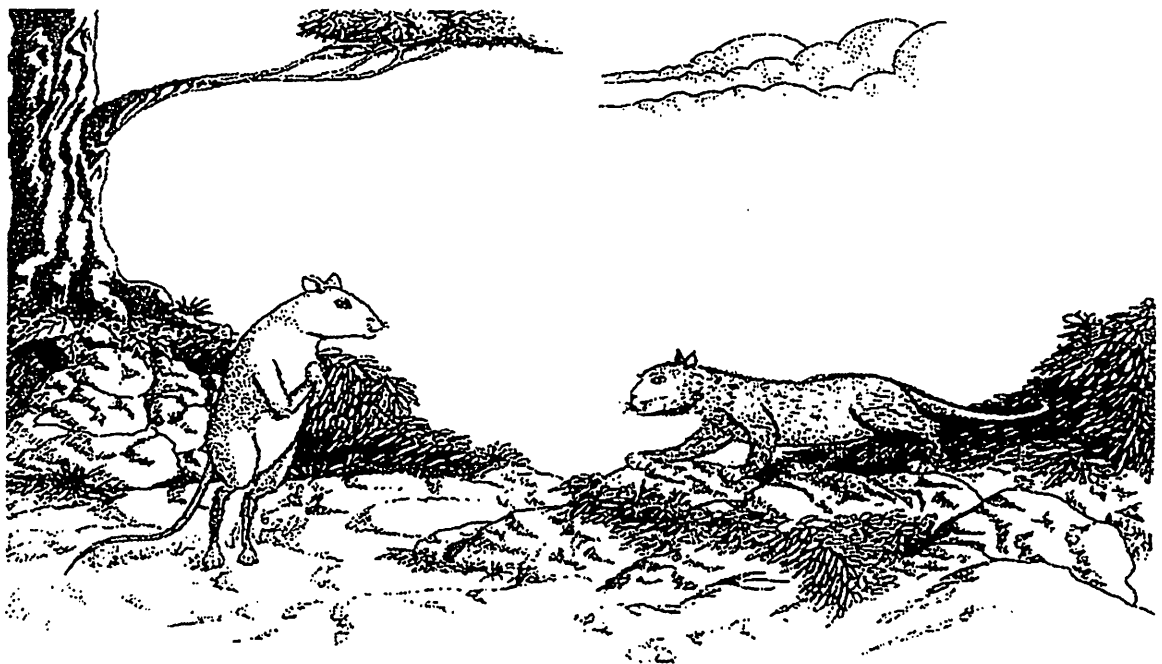
aalapo gottara lukkade. maak'andabo

家から遠ざかって行った。 帰るために

izani goytsadi tuutintside.

彼女は道に迷った。

ኢዛ ገይላ ኢዞ ዳዩን ጌዳክ ዓኒክ
ቢሪንታምባራ ባዎ ጨርጾ ኢዝ
ቆታ ኬሰኪን ቁርጺገላና ፊና
ቡተሲዝ ገይላ ቆፒላ ኤዳዴ።



izi goytsi dhayin gedik anik

彼女は道に迷い、あちらこちら

brintambara bawa ch'irbhi iz

動いていると、猫のチルビは彼女と

k'ooot keskin k'irts'intsane feeni

顔を合わせ、キルツィンツァネは自分を

buutisizadani goytsi k'oppits eddhade.

守るために方法を考えた。

ኢናፖ ኢዛ ባቆኮ፥ “ኢያ ጨርጶ!
ኔኒ ኢጺ ቆንዳብ ደሳዚን ቴ
ሲሰኪንጅን ዩና ኪንሊያ?” ኔያ
አይጫዴ ኔይዴ። “አ ካኢሾ! ኔኒ
ጉዳ ቃጻርሾ ታብ ኔና ቆኖ”
ኔይዴ።



inapo iza bawako “iya ch’rbho!

そこで彼女は猫に「やあ、チルビ!

neeni iits’i muyandabo dosizadani taani

お前が鼠を食べるのが好きなのを私は

siskindon Hanna kints’aa?” gey

聞いているが、これは本当か?」と言って

oych’ade geyide. “aa ka’isho! neeni

質問した。「ああ、そうだ! お前は

gud k’ats’arsho taani neenani muyanda.”

とても美味しい。 私はお前を食べるぞ」

geyide.

と言った。

ቂርጺንላና ባቐኮ ማቃራ “ታኒ
ዓታቦ ኔ ታና ቐምቴን ቴ ኔክ
ኤራር ዮይኔ፥ ቴ ኢንዲንዳ ኢት
ውጫ ማቂኖኮታቦ ቴ ኔክ ባያር
ዮይኒሾ” ኃዴ።



k'irts'intsana bawako maak'ara "taani

キルツインツァネは猫に返した。「私は

Hattabo neeni taanana muyanfen taani neeko

今日お前が私を食べるように、私はお前の所に

erara yeyne. ta indinda iit

知ってやってきた。私の母は悪い

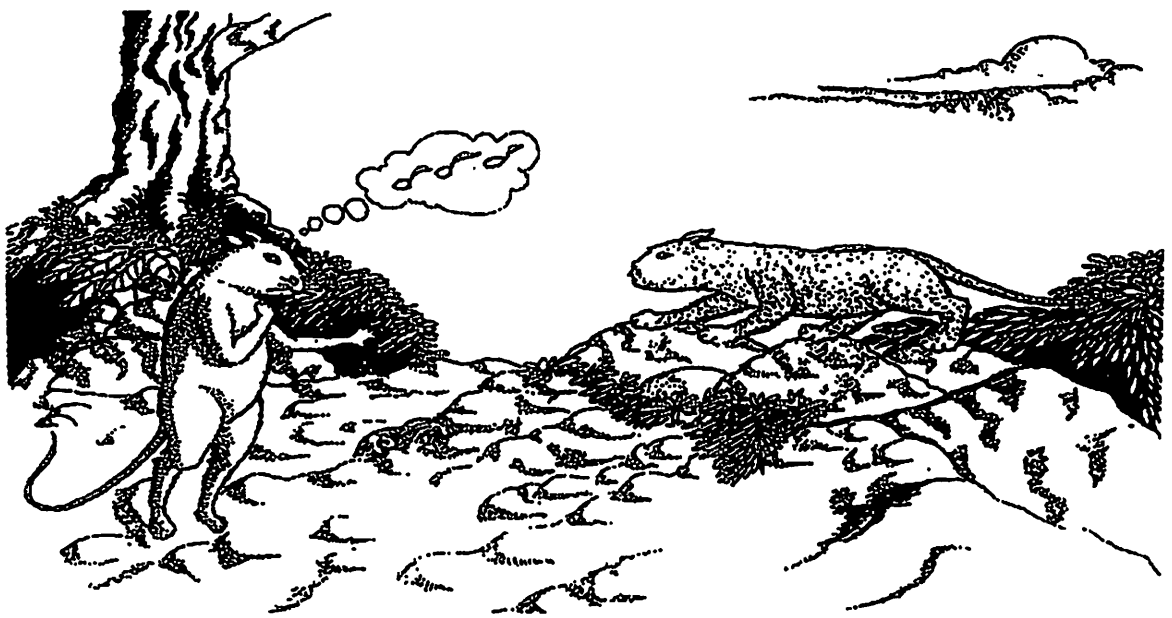
wuch'i maak'ino kottabo taani neeko bayara

ことをするので、私はお前の所に逃げて

yeyne sho" geyade.

来たんだ」と言った。

“ዲዚ ኔ ታና ሞዚምፖ ቲን ቴ
ኔና ፔቲ ባዝ ጌሻሰቶ ታኒ ዬላ
ጉድ ዬጳ ኤሪዛ ኮታቦ ቴ ኔብ ፔቲ
ኮሽ ዬላ ዬጲኖፖ ዓኒ ኔ ታና
መጉት ሞቤ” ኃዴ።



“yizi neeni taanana muyazinpo tin taani

今お前が私を食べる前に私は

neenana fetti baz geshasto taani yetts

お前に一回お願いをする。 私は歌を

gud yetts’i eriza kottabo taani neebo fetti

上手に歌うことを知っているの、私はお前に一つ

kosh yetts yetts’inopo Hani neeni taanana

よい歌を歌った後でお前は私を

munt muyabe.” geyade.

すぐさま食べる」と言った。

ኢያር ኪንፅ ጌዩ ናጋምሳራ “ላላ-
-ላላ--ላላ” ዩዝ ጌያ ዮጳምሳራ
ጩርጳ ኪንፅ ኃሪ ዶክዚምሳራ
ኢዛ ፊብ ኤጨንዳ ዮሐ ማይጺሳራ
ፊ ኢንዶ ጺይጋርሳያ።



iyar kintse gey naagambara “lala-

彼も本当だと言って待っていると、「ララー

lala-lala” yiz geya yetts’ambara

ララーララ」のように言って歌っているのを

ch’irbhi kintse gaari naagazimbara

チルビは本当だと言いながら待っていると

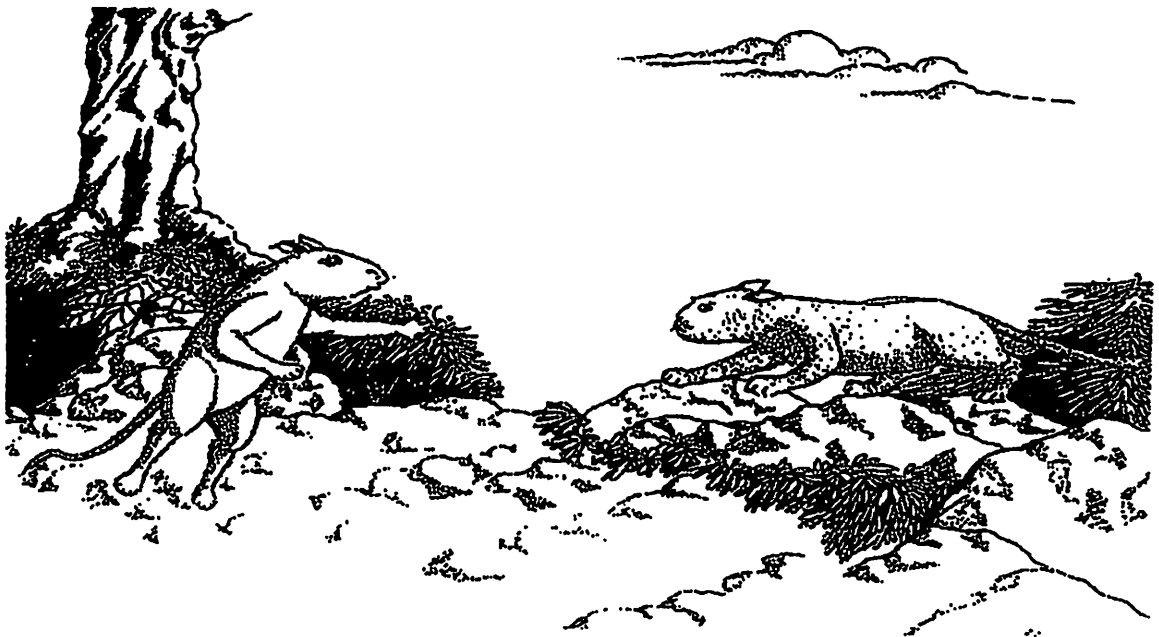
iza feebo ech’inda yetts maytsisara

彼女は自分に賢く、歌と一緒に

fe indani ts’eygare.

自分の母を呼んでいる。

ጩርጾ ኢዛ ዮል ፔታኒን ወርሲል
ኢዞ ኤዳንዳብ ዎታምባራ ፊ
ኢንዲን ዮላካዮን ቤቃራ “ዓታር
ጊላ ናጋቤ፥ ቴ ኔብ ሜላ ፔታን
ቆይሲዝ ዮል ዮጳንዳ” ኃር ጌሻዴ።



ch'irbhi iz yetts fettanin wursitsi

チルビが彼女の歌を一つ終わると

izani eddhandabo wotambara fe

彼女を捕まえようとするのに自分の

indin yellakkayon gish bekk'ara “Hattar

母が来ないのを見て「今もう

gilli naagabe. taani neebo mel fettan

少し待て。私はお前に別の一つの

k'oysiz yetts yetts'anda” geyara geshade.

美しい歌を歌おう」と言ってお願いした。

ኢዛ ናምኢሉን ፊ ቆላ ሾክ ዎታራ
ዮጳምባራ ቁርጺንላኒ ኢንዲን ኢዝ
ዮሉን ሲሰካራ ኤሲባር ዮዴ።



iza nam'itsindani fe k'ootsa shokko wotara

彼女は2つの歌を自分の声を張り上げて叫ぶと、

yetts'ambara k'irts'intsani indin izi

歌によってキルツィンツァネの母は彼女の

yettsin siskara ellibara yeyade.

歌を聞いて、急いでやってきた。

ባዋ ኢዝ ናኢን ሞንዳብ ዮሊኖን
ኤራራ ኢንዲንዳ ፊ ናኢን
ሱቲሳንዳብ ዎጻዴ።



bawadi iz na'indani muyandabo yellinon

猫は彼女の子どもを食べるために来ていると

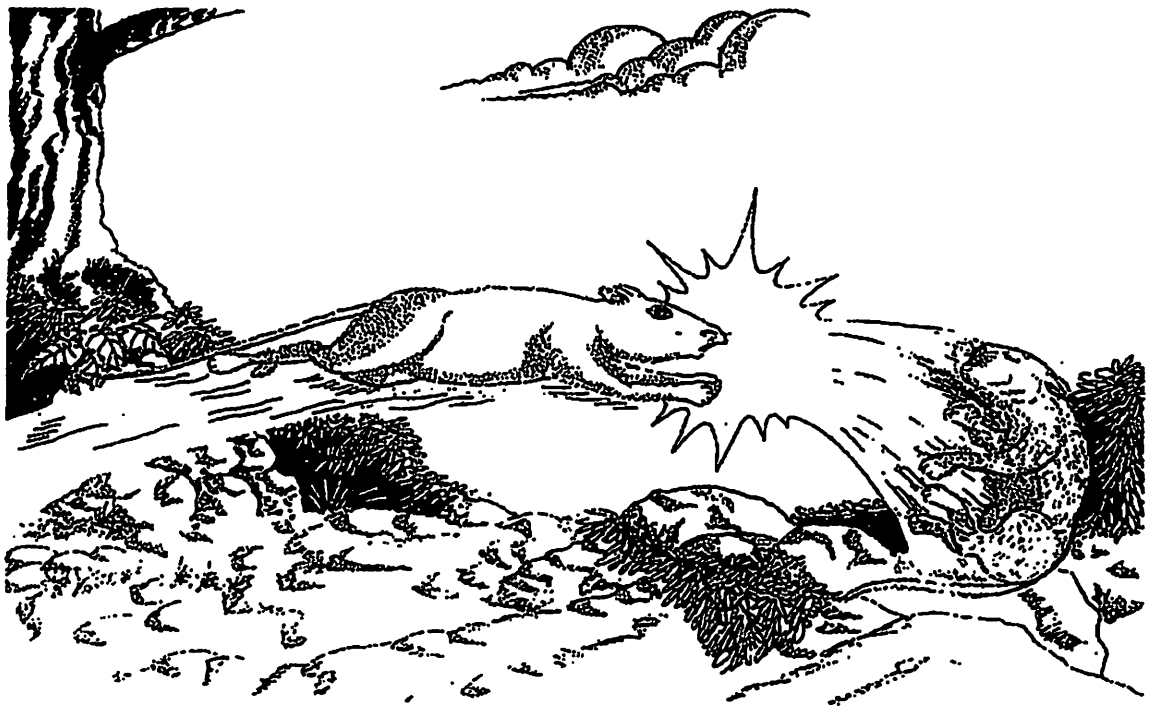
erara indinda fe na'in

知り、母は自分の子どもを

buutisandabo wotts'ade.

守るために走った。

ቂርጺገላኒ ኢገዳ ዛላባር ባዋ ጋል
ጅጅር ኬዳዴ።



k'irts'intsani inda zallibara bawa gal

キルツィンツァネの母は怒りで猫の上に

dongara keddade.

跳ねて倒した。

ጨርጶ ኢዞ ኤዳካይዶን ኢጲን
ኢንዲን ኢ ጋልዳ ዶጅክ ኬዲን
ባዎ ኢዝባር ዎጺ ዳዩዴ። ቁርጺን
ላና ፊ ኢንዶ ዲጊኖጊሻቦ ኢዝኮ
ኮሽካክ ዓዩቃዴ ጌይዴ።



ch'irbhi izani eddhakkaydon tin

チルビは彼女を捕まえる前に

indin i galla dongara keddin

母が彼の上に跳ねて倒したら

bawadi izibara wottsi-dhayide. k'irts'intsana

猫は母から走って逃げた。キルツィンツァネは

fe indin dengino gish feebo

自分の母を得たために、自分に

koshkak Hayk'ade geyide.

「よくやった」と言った。

【参照文献】

- Bender, M.L., J.D.Bowen, R.L.Cooper and C.A.Ferguson (eds.) (1976) *Language in Ethiopia*. London: Oxford University Press.
- Fleming, H.C. and M.L.Bender (1976) 'Cushitic and Omotic,' In: M.L.Bender, J.D.Bowen, R.L.Cooper and C.A.Ferguson (eds.), 34-53.
- 乾 秀行 (2008) 「バスケット語動詞300」乾秀行 (編) 『オモ・クシ系少数言語の調査研究および地理情報システムを用いたデータベース構築 (Cushitic-Omotic Studies 2007)』 15-60, 山口大学.
- Leslau, W. (1968) *Amharic Textbook* Wiesbaden: Otto Harrassowitz.
- 柘植洋一 (2001) 「エチオピア文字」河野、千野、西田編 『言語学大辞典別巻 世界文字辞典』 169-173. 東京：三省堂.